

東京浅草中央ロータリークラブ

【週報】平成18年6月7日発信

第991回例会 第977号

会長:中村 義英 副会長:長沼 一雄 幹事:片岡 邦夫 会報委員長:藤野 勝彦

<2005-2006年度テーマ>

・超我の奉仕 ・超我の奉仕 ・20周年を迎えて、更に大きく『愛』の輪を	RI会長 カール・ウィルヘルム・ステンハマー 2580地区ガバナー 古宮 誠一 クラブ会長 中村 義英
今日の卓話 「俳句の話」 俳人 奈良 文夫 様 紹介者: 上原 洋一 君	◎次回卓話予定(6月14日) 「M&Aの話」 株式会社 日本M&Aセンター 副部長 福井 順 様 紹介者: 上原 洋一 君

<6月の卓話予定表>

6月 7日	「俳句の話」	俳 人	奈良文夫 様
14日	「M&Aの話」	(株)日本M&Aセンター	副部長 福井 順 様
21日	<クラブ協議会> 次年度事業計画発表		
28日	夜間例会	「一年を振り返って」	中村義英 会長、片岡邦夫 幹事

[平成18年5月31日 第990例会の記録]

【会長報告】<中村会長>

先程、次期理事会が開かれ活発な意見交換がなされ、もう次年度が始まったと云う感が致しました。
 地区役員の方は昨夜お別れ会があり、あと1ヶ月を残しておりますが、地区委員の方はすでに任期を全うしました。
 20周年記念事業の締め括りの記念誌が出来上がりました。岩戸さんの素晴らしい労作、誠にありがとうございました。

【幹事報告】<片岡幹事>

先週の例会で新入会員候補としてご紹介した関原光治さんがお見えになっております。入会に関し異議なしと認め入会が確定致しましたことをご報告致します。来週の例会にて入会式を行う予定です。
 東京青年会議所から第18回わんぱく相撲東京都大会のお知らせが来ています。6月18日(日)9:15~13:30で浅草寺本堂裏の広場で行われます。当クラブでは例年協賛金を出して居ります、今年も2万円協賛致しました。

【委員会報告】<太田 地区青少年交換委員>

今年8月23日成田を出発する、長島奨子さんに当クラブよりブレザーを寄贈頂き有難う御座いました。
 派遣先のブルターニュ地方(オーレイ・パンヌ)のちづを回覧致します。

来訪者数	例会出席報告	会員出席率
ゲスト3名 ビジター 2名	第990例会	総数49名, 出席40名, 欠席6名, 出席率 86.96%
	第988例会	修正変更/4名欠席 出席率91.30%(免除 2名)

ニコニコボックス

■ 植木 君

本日卓話をお願いした長谷川さんをご紹介します。

■ 中村、長沼、永井、斉藤、遠藤、宮沢、松崎 君

長谷川先生の卓話を楽しみにして居ります、よろしく
お願い致します。

■ 吉田、大塚、中村、岩戸、柿沼、長島、斉藤、松崎、
松本、永井 君

本日、入会希望の関原光治君が例会見学に参りました、
おいに歓迎を致します。

■ 原田 君

南 水蓮さんの書籍代をニコニコさせていただきます。

■ 天笠 君

R 財団・米山奨学、合同の引継ぎに出席頂き感謝します、
又、山尾さんには大変お世話になりました。

■ 宮村 君

結婚祝いのお花をありがとうございます。43年目です。
全て家内のお陰と感謝の日々です。(本当です)

■ 岩戸 君

漸く、20周年記念誌が仕上がりました、遅くなりましたが
皆さんにお楽しみ頂ければ、幸いに思います。

■ 太田 君

本日、長島奨子さんに当クラブより寄贈のブレザーを
頂きありがとうございました。

■ 吉田 君

結婚記念日のお花を頂き、ありがとうございます。

■ 井田 君

結婚記念の綺麗な花束有難うございました。
お陰様？で36年目に入りました。

■ 本 君

息子が剣道の関東大会に出場が決まりました。
35年前に自分も出場した大会ですので、応援にも気合
が入ります。

【卓 話】



「福祉と宗教」

淑徳大学学長・立正大学名誉教授 長谷川 匡 俊 様

社会福祉の原型には、①共同体の相互扶助、②宗教的な慈善、③政治的な救済、の三点が挙げられる。

今日の民間社会福祉活動は②宗教的な慈善の発展した形態と考える事ができる。そこで近年注目度を集めている
約1300年前の奈良時代の高名な僧、行基(668～749)について考証してみる。

I. 奈良時代の仏教と行基

この頃の仏教は鎮護国家を第一義とし、南都六宗(華嚴、三論、俱舎、法相、成実、律)の学問仏教としての性格が強く、
僧侶は「僧尼令」によって布教を厳しく禁じられていた。そうしたなかで行基は、奈良の平城京造営で移住してきた民衆や
郊外の農民の中に積極的に入って行き民衆の苦悩を救済した。そのため、当初は律令政府から弾圧されて取り締まりの
対象にさえなったのである。

II. 聖武天皇の大仏造立の大願と行基

律令政府の威信をかけた、まさに国家的な大事業である「大仏造立」を実現させるために、聖武天皇は一転して行基を
「大勸進」(物的、人的、資金的、な協力を得る勧募する役)に抜擢した。それは民衆への絶大な影響力と民衆の信望を
集めて居た並外れの行基の「勸進エネルギー」に期待を掛けたからである。

III. 民衆教化と福利事業の一体的展開

行基の行動形態の特徴は、①一ヶ所に定住することをせず、各地を遍歴して人民の悩みや不安、恐れなどに応える
教化活動、②「ややもすれば干をもって救う」と続日本紀にも記された集団性、③「器に随って誘導し、悉く善に趣く」と
ある カリスマ的布教者であり、④弟子等を率い、諸の要害の処に於いて、橋を造り、つつみを築き、見聞及ぶ所、こと
ごとく来りて功を加え、日ならずして成る。百姓(ひやくせい、一般の人)今に至るまでともに利を蒙る」(「続日本紀」天平
21年2月2日条)とあるように、多数の弟子や信者の民衆を動員して社会的ニーズの高い公共的福利事業を行っている
こと、などである。

IV. 行基が造営した社会施設

橋六所、直道一所、池十五所、溝六所、樋三所、船息(ふなどめ)二所、堀四所、布施屋(無料宿泊所・医療施設)九所
(「行基年譜」による)。これらの社会施設は大きく①交通施設、②灌漑施設、③救しゆつ施設の三つに分けられる。
まさに民間福祉の偉大なりーダーといえる。